

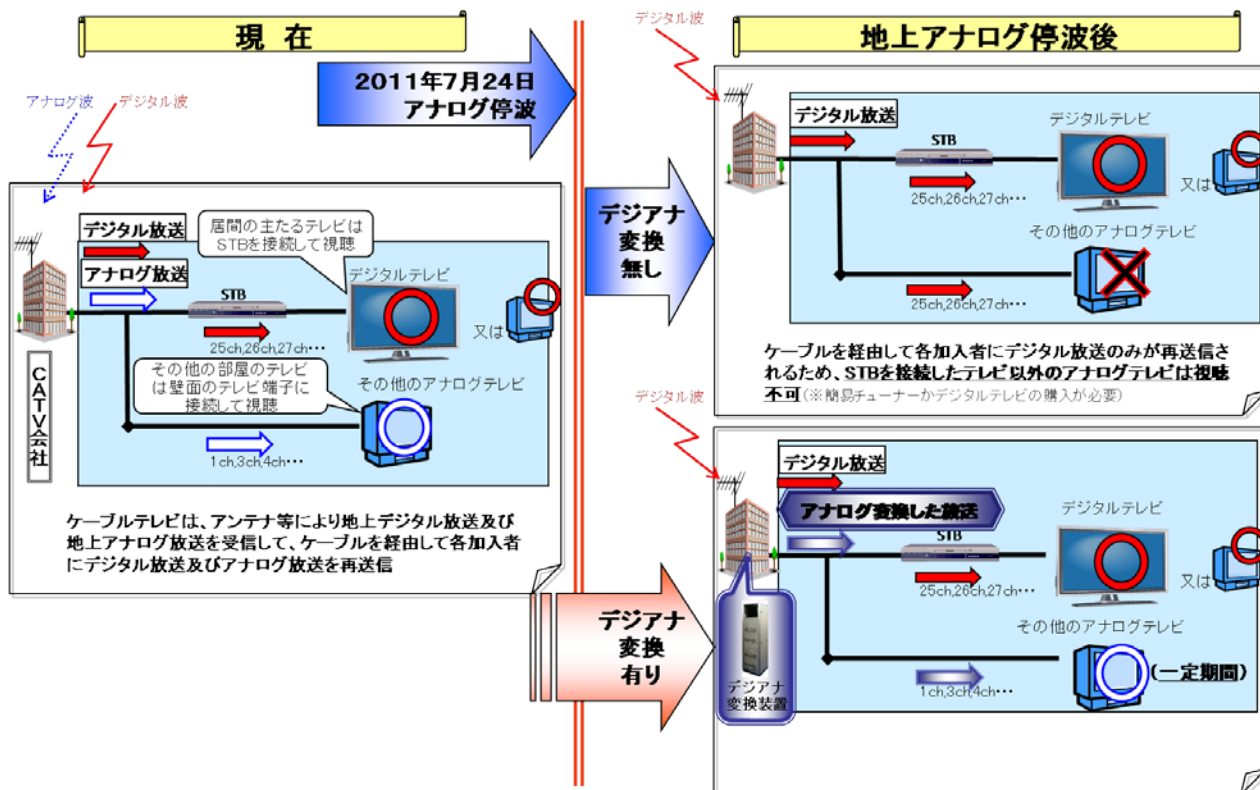
デジアナ変換の暫定的導入について

(1) デジアナ変換とは

デジアナ変換は、ケーブルテレビのヘッドエンドにおいて地上デジタルテレビ放送をアナログ方式に変換して再送信するものです。

デジアナ変換の暫定的導入は、使用可能なアナログ受信機を地上アナログ放送停波後も継続して使用したいという視聴者の要望への対応、2台目、3台目を含むアナログ受信機の買換え等に要する視聴者負担の平準化、アナログ受信機の廃棄・リサイクルの平準化等、平成23年7月以降も残存するアナログ受信機対策としても効果的であることから、地上デジタル放送への円滑な移行に寄与するものと期待されます。

ケーブルテレビにおけるデジアナ変換の概要



(2) 開始時期

デジアナ変換の導入は、他の電波による混信により技術的に導入が困難な場合があることや簡易チューナー配付などの代替措置があることなどから、最終的には各事業者がそれぞれの状況に基づき判断することとなります。

導入する場合の開始時期は、基本的には各事業者が経営戦略に基づき判断することになりますが、地上アナログ放送終了（平成23年7月24日）までのできるだけ早い時期とします。

(3) 終了時期

デジアナ変換が暫定的な措置であることを踏まえ、平成27年3月末に終了することとします。

(4) 機能上の制約

一般的にデジアナ変換による放送は、地上デジタル放送と比較して、例えば、次のような機能上の制約があります。

- ・映像がレターボックスになること
- ・データ放送を受信できないこと
- ・放送の録画回数がコピーワンスになること
- ・EPGが使えないこと 等

使用できる機能は各事業者ごとに異なる部分があると考えられます。